

開講後も1講義毎に
聴講生を受付中!

著名人による特別講義と国際協力・理解講座

第10期 小山内美江子 国際ボランティア・カレッジ

国際協力セミナーのご案内

今年も「小山内美江子 国際ボランティア・カレッジ」(JHP・学校をつくる会主催の国際協力セミナー)を開講することとなりました。皆様のご参加を心よりお待ちしております!

【開講期間】:2015年8月22日(土)
～ 2016年2月27日(土)
(開講式: 9月5日(土)13:30～15:00)
土曜日 13:30～15:00、15:15～16:45
水曜日 18:30～20:00
(日曜日・合宿時 8:50～10:20、10:30～12:00)
【全科目履修生】:60,000円(学生50,000円)
【科目別履修生(聴講生)】:1,300円(1講義)
／回数券6,500円(6講義分) ※当日支払
※1講義毎に聴講を受け付けております。
(要予約)(最終ページ参照)

【会場】:JHP・学校をつくる会 教室(その他)
〒108-0014 東京都港区芝5-26-16
読売理工学院ビル6階
(JR田町駅西口、地下鉄三田線・浅草線
三田駅A3・A7出口より徒歩2分)
その他数会場にて実施
【問合せ】:認定NPO法人 JHP・学校をつくる会
担当:松本、上田
TEL:03-6435-0812
E-Mail: college@jhp.or.jp

講義スケジュール

更新日:2015.12.10

No.	日付	時間	講師(敬称略)/所属	講義内容	会場
1	8/22 (土)	A 13:30 -15:00	藤原 紀香 特定非営利活動法人Smile Please☆世界子ども基金 発起人、女優	『世界の子どもたちが夢を実現する未来にむけて』 2002年に紛争の爪痕の残るアフガニスタンへの訪問をスタートに、世界の子どもたちが心豊かに笑顔で生活し、夢を実現する未来の創造に寄与することができればと願い、「SmilePlease☆世界子ども基金」を立ち上げました。また、「JHP・藤原紀香カンボジア子ども教育基金」を設立し、これまで同基金からカンボジアに3棟の紀香学校を建設しています。本講義では、世界の現状、子どもたちの現状を伝え、一緒に考えていくなければと願っています。	読売 503
2	8/29 (土)	A 13:30 -15:00	中込 祥高 JHP・学校をつくる会事務局長	『ネパール大震災の被災地を訪れて』 2015年4月25日に発生したネパール大震災の後、5月4～8日までネパールに入り、連携するローカルNGO『ラルパテネパール』の活動に同行した。この期間に撮影した写真を中心に被災地の状況や活動内容を報告しながら、その後継続するJHPとしての取り組みを紹介したい。	港南 1・2
-		A	第10期 小山内美江子 国際ボランティア・カレッジ開講式		JHP
3	9/5 (土)	B 15:15 -16:45	小山内 美江子 JHP・学校をつくる会代表理事	『特別講演 ～戦後70年、なぜ日本は世界中から信頼・尊敬されてきたか～』 1945年(終戦の年)、私は15歳でした。その年の4月15日、横浜の鶴見にあった生家が空襲で焼かれ、また、終戦の日は軍需工場で働いていました。その時の経験を皆様にお話するとともに、なぜ、戦後70年、日本は世界中から信頼、尊敬されてきたか、皆様と考えていきたいと思っております。	JHP
4	9/9 (水)	C 18:30 -20:00	田中 雅彦 独立行政法人 JICA(国際協力機構)地球ひろば所長/広報室室長	『JICAのボランティア事業』 今年(2015年)は、青年海外協力隊が発足して50年。これまで約100か国の国に累計で5万人のボランティアが活動してきた実績があり、現在も2000人近くが活動中である。本事業の目的、アプローチ、活動内容、帰国後の活躍等について、他国のボランティア等と比較しながら解説する。	JHP
5	9/12 (土)	A	今川 幸雄 元駐カンボジア大使、関東学園大学名誉教授	『① 地球化(グローバリゼーション)時代の世界』 I. (1)冷戦の時代 (2)冷戦の終了 (3)グローバリゼーション時代の世界とアジア II. アジアにおけるグローバリゼーションとカンボジア 平和 (1)最初の成果 (2)ポスト・カンボジア	JHP
6	9/12 (土)	B 15:15 -16:45	小山内 美江子 JHP・学校をつくる会代表理事	『小山内美江子のJHP史 ①』 1990年中東湾岸危機を契機に、国境を越えたボランティア活動を開始。92年和平協定調印されたカンボジア内戦終結時にはカンボジア帰還難民の救援活動を行い、カンボジアを中心に学校建設、音楽、美術教師育成など地域に根ざした国際協力を行なうJHP・学校をつくる会を設立。各国で活動を行なう自身とJHP史について講演する。(全3回講義)	JHP

No.	日付	時間	講師(敬称略)/所属	講義内容	会場
7	9/16 (水)	C	有森 裕子 認定NPO法人ハート・オブ・ゴールド代表理事、元マラソン選手	『私の社会活動～共に育つ～』 仕事でこうしたい、自分自身はこうなりたいと毎日の生活の中でいろいろなもの求め、わからないことに向かっただけでなく一歩一歩進んでいく。そのときに大事になるのは、こうなりたいという目標を定めること、目標に向かってやりぬく気持ちなど、競技生活で学んだことを中心に、スポーツを通じての支援活動を行っている「ハート・オブ・ゴールド」について、カンボジアの子どもたちを支援させていただいた話を交えながら、目標を決めその目標に向かってあきらめずに取り組むことの大切さについてお話しします。	読売 502
8	9/26 (土)	A 13:30 -15:00	小川 郷太郎 元駐カンボジア大使	『戦後70年、「歴史認識」を考える』 今年は戦後70周年。安倍総理が8月に談話を発表しました。過去の歴史の問題については、日本自身または日本人自身が冷静に考えるべきものですが、総理談話の内容について近隣国である中国、韓国だけでなくアメリカ等多くの国から様々な注文や要望が寄せられています。日本にとってあまり愉快なことではありませんが、この問題の国際的広がりとその背景を知るとともに、発表された総理談話の内容および外国の反応について考える機会を持ちたいと思います。	JHP
9		B 15:15 -16:45	今川 幸雄 元駐カンボジア大使、関東学園大学名誉教授	『② 外交』 (1)外交とは何か(2)古い外交と新しい外交 (3)追従外交と自主外交	JHP
10	9/30 (水)	C 18:30 -20:00	松本 伸夫 JHP・学校をつくる会理事、元東海大学国際学科教授	『① 丸腰ボランティアの中村哲医師』 パキスタン、アフガニスタンの山岳紛争地帯で医療活動を続けながら、安全な水の補給のため丸腰のボランティア活動を続けているベジャワール会代表の中村哲医師の活動を紹介します。	JHP
11	10/3 (土)	A	栗田 充治 亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部 学長	『災害救援ボランティア論 I・II』	JHP
12		B	栗田 充治 亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部 学長	防災(減災)の基礎知識を阪神・淡路大震災を例に確認したあと、災害現場で直面する課題についてグループでワークショップを行い、実践的な知識として学ぶことを目指す。(2講義連続)	JHP
13	10/7 (水)	C	佐高 信 評論家 (非公開)	『私の著書「安倍晋三と翼賛文化人 20人斬り」より』	読売 504
14		A	山崎 裕人 元警察庁警察大学校長	『警察分野の国際協力と海外における安全対策』 カンボジアPKOの経験。インドネシアにおける警察改革のお手伝いの経験。最近の国際社会、学界におけるポスト・コンフリクト地域における治安確保の方法をめぐる議論の紹介。社会人生活3分の1を占める海外経験から得た「海外で身を守るための秘訣」。	オリ ス1
15	10/17 (土)	B	篠原 勝弘 前駐カンボジア大使、公益財団法人CIESF 副理事長兼カンボジアオフィス代表	『民間援助・カンボジア教育支援について』 外務省勤務42年間を振り返り、民間援助、カンボジアに対する教育支援の重要性について講義する。	オリ ス1
16		C	中込 祥高 JHP・学校をつくる会事務局長	『JHP・学校をつくる会の活動について』 講義前半は、「開発途上国の子どもたちが学校に通えるようになる何が変わる?」、「皆さんがカレッジに通う何が変わる?」などをテーマにグループディスカッションを行いたい。後半は、当カレッジを主催するJHP・学校をつくる会の活動全般について講義し、具体的な参加の方法についても紹介したい。	オリ ス1
17	10/18 (日)	D 8:50 -10:20	松本 伸夫 JHP・学校をつくる会理事、元東海大学国際学科教授	『② カンボジアPKOと国連ボランティア』 日本初の海外派遣の自衛隊によるカンボジアPKO活動(1992～93)では、総選挙準備中の国連ボランティア(UNV)中田厚仁さんが殺害された。さらに文民警察官としてタイ国境近くで活動中の岡山県警出身の高田晴行警部補(後に警視)もボル・ポト部隊の待ち伏せ攻撃を受けて即死した。現在も世界の紛争地域で展開されている日本の準軍事的なPKOを検証する。	オリ 307
18		E 10:30 -12:00	今川 幸雄 元駐カンボジア大使、関東学園大学名誉教授	『③カンボジアにおける戦争と平和(その1)』 サンクム時代。ロンノル・クーデター。虐殺政権、クメール・ルージュ。ベトナムの「侵攻」とヘン・サムリン政権。和平への最初の息吹。カンボジアと平和国際会議(PICC)。エピソード1.料理が運びこまれると会議成功の可能性大2.美味しいフランス料理とワインは平和をもたらす	オリ 307
19	10/21 (水)	C	熊倉 功夫 静岡文化芸術大学学長、林原美術館元館長	『高山右近と古田織部』 日本を捨ててマニラに向けたキリシタン大名の高山右近と、漫画「へうげもの」の主人公としてえがかれる古田織部は、1615年、ちょうど400年前に一人はほとんど殉死、一人は切腹を命じられて没した。2人の生涯をたどってみます。	読売 504
20	10/28 (水)	C	池上 彰 ジャーナリスト	『イスラム世界の理解のために』 世界に16億人いるといわれるイスラム教徒。イスラム武装勢力による事件の報道ばかりが目立っていますが、イスラム教が危険ということではありません。イスラム世界を理解するために必要な基本知識を皆様に身に付けていただきたいと思います。	読売 503
21	10/31 (土)	A	松本 伸夫 JHP・学校をつくる会理事、元東海大学国際学科教授	『③「人間の安全保障」と緒方貞子さん』 安全保障という概念は、国連安保理に象徴されるように、領土保全、国際平和、核の傘など国家とのつながりが強かった。21世紀に入って飢餓、失業、難民、人権侵害への関心が高まり、「国家安全保障」とともに新しい「人間の安全保障」という考えが日本を中心に確立、10年間国連難民高等弁務官を務めた緒方貞子前JICA理事長らがPRIに尽力している。この新しい国際協力概念を緒方さんの活動などから学ぶ。	JHP
22		B	岩本 宗孝 JHP・学校をつくる会 理事	『JHPの活動と私の体験から』 JHPの事務局長、常勤理事(現職)などの経験をもとに、NPOの運営についてのノウハウを説明し、将来、国際協力活動を目指す人への参考とする。また、この間のJHPでの活動の実績や成果についての紹介を行う。	JHP
23	11/4 (水)	C	江川 紹子 ジャーナリスト (非公開)	『私の取材ノートから』	リー ブラ
24	11/7 (土)	A	山田 寛 帝京大学非常勤講師、法務省難民審査委員	『ボル・ポト革命の歴史』 1970年代、内戦の末に政権の座についたボル・ポト派(クメール・ルージュ)は国民の5分の1を死に追いやる虐殺の暗黒革命だった。その後遺症は今日でもカンボジア社会に厳しく残っている。その暗黒を裁く裁判が、政権崩壊30年後の2009年に始まった。この講座を通し、ボル・ポト革命について基礎的な知識を身につけてもらう。	JHP
25		B	今川 純子 JHP・学校をつくる会副代表理事	『私の海外生活』 30年に及ぶ在外勤務の中、二度の戦後の苦しい時を過ごし、一度クーデターにあい生命の危機に直面する。その当時の日本政府の対応などについてお話しします。	JHP
26	11/11 (水)	C	青木 一能 日本大学文理学部教授	『遥かなる大地・アフリカー ①』 世界最高の経済成長率を記録するようになったアフリカだが、依然として貧困と格差に苦しんでおり、その矛盾を生み出す構造を、歴史の概観から始め、過去の呪縛と闘いながら新たな社会の創造に挑んできた過程、さらには今日のアフリカを取り巻く国際社会との関係を講義したい。皆さんのアフリカ接近の一助となるように心がけたい。(全4回講義)	JHP

No.	日付	時間	講師(敬称略)/所属	講義内容	会場
27	11/14 (土)	A	田島 高志 元駐ミャンマー・カナダ・ブルガリア大使	『ミャンマーの民主化と日緬関係』	JHP
28		B	小山内 美江子 JHP・学校をつくる会代表理事	『小山内美江子のJHP史 ②』	JHP
29	11/18 (水)	C	青木 一能 日本大学文理学部教授	『遙かなる大地・アフリカ ②』	JHP
30	11/25 (水)	C 18:30 -20:00	高橋 祐子 佐野ユネスコ協会常任理事、聖イグナチオ教会会員	『アメリカのボランティア活動に参加して』	JHP
31	11/28 (土)	A 13:30 -15:00	景平 義文 特定非営利活動法人 AAR Japan (難民を助ける会) シリア難民支援事業担当	『トルコにおけるシリア難民の現状とAAR Japanの支援活動』	JHP
32		B 15:15 -16:45	今川 幸雄 元駐カンボジア大使、関東学園大学名誉教授	『④カンボジアにおける戦争と平和 (その2)』	JHP
33	12/2 (水)	C	青木 一能 日本大学文理学部教授	『遙かなる大地・アフリカ ③』	JHP
34	12/5 (土)	A	藤井 石根 明治大学名誉教授	『エコ・エコノミー社会の醸成とグローバル化 ～これぞ真の積極的平和主義の一翼～』	JHP
35		B		世界で二極化が進み貧富の格差も拡大しています。貧困と差別は社会を不安定化させ、異常気象など環境悪化はこれに拍車を掛けています。しかし、武力で安定化は図れません。反って事態を悪化させてしまいます。ここで、必要な事は原因を除去する事でエコ・エコノミー社会の構築に寄与することです。本講ではこの辺のところを考えてみたいと思います。(2講義連続)	JHP
36	12/9 (水)	C	青木 一能 日本大学文理学部教授	『遙かなる大地・アフリカ ④』	JHP
37	12/12 (土)	A	山田 裕史 カンボジア市民フォーラム事務局長、東京大学大学院特別研究員	『① カンボジアにおけるNGO活動とNGO法制 ② 転換期を迎えたカンボジアの政治・社会情勢』	JHP
38		B		① カンボジアは日本のNGOがもっとも多く集中する国のひとつです。150以上もの団体が何らかの形でカンボジア支援に携わっています。日本のNGOはどのような支援を開始したのでしょうか？また、日本のNGO活動の特徴や課題を有しているのでしょうか？本講義では、これらの問いについて考えながら、同国における日本のNGO活動の全体像を提示します。 ② 2013年総選挙における野党「救国党」の大躍進は、国内外に大きな驚きを与えました。35年による人民党支配は、いま大きな転換点を迎えつつあります。本講義では、選挙監視活動やその後の現地調査での見聞などをもとに、2013年総選挙の結果の分析やその後の政治・社会情勢についてお話しします。	JHP
39	12/16 (水)	C	谷山 博史 NPO法人日本国際ボランティアセンター代表理事	『対テロ戦争の時代に人道支援を考える』	JHP
40	2016 1/9 (土)	A	松本 伸夫 JHP・学校をつくる会理事、元東海大学国際学科教授	『④ 国際協力の新しい風(風の学校) ～現地中心の自立・自活協力』	JHP
41		B	小山内 美江子 JHP・学校をつくる会代表理事	『小山内美江子のJHP史 ③』	JHP
42	1/16 (土)	A	住友 正人 アジア福祉教育財団難民事業本部企画調整課	『カンボジアと日本での体験』	JHP
43		B	関口 明子 国際日本語普及協会 理事長	『日本の難民受け入れと責任(仮題)』	JHP
44	1/23 (土)	A	源 由理子 明治大学大学院ガバナンス研究科教授	『開発援助のマネジメント～外からの支援の可能性と限界～』	読売 504
45		B		本講義では、参加型のワークショップ形式を用い、事例を使いながら開発援助プロジェクトを計画していきます。その過程における様々な意見交換をとおし、開発の主体である地域の人々が自ら社会問題の解決にあたる過程において、外からの介入である開発援助がどのようにかかわることができるのか、その可能性と限界を考えていきます。受講生の積極的な参加と討議を期待しています。(2講義連続)	
46	1/27 (水)	C	目加田 説子 JBL地雷廃絶日本キャンペーン理事、中央大学総合政策学部教授	『市民が国際問題にどう関わるのか考える(仮題)』	読売 504
				対人地雷の犠牲者をなくし、すでに犠牲となってしまった人々を救うために市民が中心となってはじまった地雷禁止キャンペーンと対人地雷全面禁止条約、また同じように作られたクラスター爆弾禁止条約とその推進活動を紹介しながら、軍縮に対し私たちは無力ではない、ということをお伝えしたいと思います。(予定)	



No.	日付	時間	講師(敬称略)/所属	講義内容	会場
47	1/30 (土)	A 13:30 -15:00	吉岡 健治 JHP・学校をつくる会理事、NPO法人JEN共同代表理事	『ネパールの政治と教育-JHPの学校建設支援』	オリ 106
48		B 15:15 -16:45	丸井 雅子 上智大学総合グローバル学部 准教授	『アンコール遺跡の考古学』	オリ 106
49		C 18:30 -20:00	BAKU 斉藤 写真家 公益社団法人日本写真家協会 株式会社スタジオバク代表	『アンコールの尊顔を撮る』	オリ 106
50	1/31 (日)	D 8:50 -10:20	松本 伸夫 JHP・学校をつくる会理事、元東海大学国際学科教授	『⑤「持続可能な発展」を目指して』	オリ 106
51		E 10:30 -12:00	今川 幸雄 元駐カンボジア大使、関東学園大学名誉教授	『⑤ 外交問題としての難民問題』	オリ 106
52	2/6 (土)	A	寺脇 研 京都造形芸術大学教授、元文部科学省文化部長	『文化交流論①②(仮題)』	JHP
53		B		国境を越えた文化交流の在り方、日韓文化交流の実体験、文化交流する心を育てる教育等についての講演(予定)(全2回講義)	
54	2/10 (水)	C	細川 佳代子 NPO法人勇気の翼インクルージョン2015 理事長 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 名誉会長	『インクルージョン～共生社会をめざして～(仮題)』	読売 504
55	2/13 (土)	A	中川 武 博物館明治村館長、元早稲田大学理工学術院教授	『アンコール遺跡の保存修復と日本の国際協力の役割』	JHP
56		B	今川 幸雄 元駐カンボジア大使、関東学園大学名誉教授	『⑥ カンボジアおよびカンボジア人』	JHP
57	2/17 (水)	C	山中 ひとみ カンボジア古典舞踊家	『カンボジア舞踊の魅力』	読売 504 (予定)
58	2/20 (土)	A	遠藤 宣雄 元上智大学アジア文化研究所名誉所員	『遺跡エンジニアリング I. 考え方 II. 事例研究』	JHP
59		B		遺跡エンジニアリングとは「遺跡」を「エンジニアリングする」という意味である。遺跡は人間が創造した歴史的文化的な資源とみなすことができる。これをいかに社会発展や国家復興に活用するかがこの考え方である。(2講義連続)	
60	2/27 (土)	A	松本 伸夫 JHP・学校をつくる会理事、元東海大学国際学科教授	『⑥ 正義の人道介入はあるのか』	JHP
61		B	今川 幸雄 元駐カンボジア大使、関東学園大学名誉教授	『⑦ カンボジアの歴史、文化および宗教』	JHP
-	3/26 (土)	A		第10期 小山内美江子 国際ボランティア・カレッジ修了式 (聴講生、OB/OGの皆さんもご参加ください！)	JHP

* 講義時間 土曜日A=13:30-15:00 土曜日B=15:15-16:45 水曜日C=18:30-20:00

(日曜日D=8:50-10:20 日曜日E=10:30-12:00 ※合宿時のみ)

* 講義会場 JHP=JHP・学校をつくる会 教室 / 読売=読売理工学院ビル内・502教室, 503教室, 504教室
オリ ス1=代々木オリンピックセンター・スポーツ棟1F 第1研修室
オリ 307=代々木オリンピックセンター・センター棟3F 307教室
オリ 106=代々木オリンピックセンター・センター棟1F 106教室
港南1・2=芝浦港南区民センター・第1/第2集会室
リーブラA=男女平等参画センター・学習室A

* 講師都合や天候状態により、講師・講義テーマ・講義日程が変更になる場合があります。

また、講義会場が変更になる場合もあります。

変更の場合は下記ホームページにてお知らせしますので、ご参加の前に必ずご確認ください。

<http://www.jhp.or.jp/college/index.html>

JHPカレッジ

検索

天候により休講となる場合は、

・土曜日の講義 … 前日(金曜日)19:00時点の天気予報で判断し、お知らせします。

・水曜日の講義 … 当日(水曜日)10:00時点の天気予報で “ ” “ ”

講師都合による変更が生じた場合は、都度お知らせします。

* 科目別履修生(聴講生)…要予約・先着順。講義前日の17:00までにメール・お電話・FAXにて、ご希望の講義・氏名・連絡先(電話番号・メールアドレス)を連絡願います。

但し、少人数制の教室であるため、席数の都合上お断りする場合があります。

* ご不明な点は、カレッジ事務局(03-6435-0812)までお問い合わせください。